ONE VOICE ワンボイス

声をつなぎ、未来をつくる

“ONE VOICE.（ワンボイス）
たとえ一つの声でも、学んだ事実に思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができるはずです。大人だけでなく、子どもである私たちも平和のために行動することができます。あの日の出来事を、ヒロシマの歴史を、二度と繰り返さないために、私たちが、被爆者の方々の思いを語り継ぎ、一人ひとりの声を紡ぎながら、平和を創り上げていきます。”

戦後80年の昨年8月6日、広島平和記念式典で平和への誓いを宣言した子ども代表の言葉です。会場は静まり返り、その言葉に世界の平和を願わずにはいられませんでした。

三芳町は、子どもにやさしいまちづくりを進めています。子ども達の声に耳を傾け、子ども達の最善の利益を考え、施策を遂行する中で、子ども達が幸せになり、社会全体が幸せになることができます。

子ども達の数々の体験と、出会いと、感動の中から未来が拓け、新たな人生の一歩が始まります。そして、子ども達だけではなく、年齢、性別、国籍、障がいの有無などに関わらず、あらゆる人の小さな「ONE VOICE」に耳を傾け、声と声を紡ぎあげていく、その先に「誰一人取り残されないWELL-BEING」の世界が開けてくるのだと思います。

少子高齢化、人口減少、教育や福祉、物価高、都市基盤整備や自然災害の激甚化など、自治体を取り巻く環境は厳しい。しかし、こうした時だからこそ、何よりも多くの人の「ONE VOICE」に耳を傾けていくことが重要だと考えます。「ONE VOICE」を大切にする一年としてまいります。

三芳町長
林 伊佐雄

①現地で体験したバティックアーティストとの交流（マレーシア海外派遣事業）。②クイーンズランド州政府教育省の環境保全学習（オーストラリア親善大使海外派遣）。③富士山登山中（チャレンジアドベンチャー富士登山体験交流）。④爆心地を見学（戦後80年広島平和記念式典派遣事業）。⑤段ボールベッド組み立て（防災キャンプ）。⑥町制施行55周年式典で「子どもにやさしいまちづくり」を宣言（子どもまちづくり会議）。

■町長：さて、6つの取り組みを通して、皆さんはそれぞれ大きな感動や学びを得てきました。驚きや悔しさ、戸惑い、そして気づき――その一つひとつが、皆さんの中に確かな変化を生んでいると感じました。では、皆さんはその感動、経験をどう生かしていきたいと考えていますか？

防災キャンプ：災害が起きたときにどう行動すればいいのか、避難所で何に気をつけるべきかを考え、学校を一番知っている自分たちがリーダーとなって地域の人たちの助けに入りたいと感じました。また、今後は防災キャンプの体験を学校などで伝え、防災意識を町全体に広げていきたいと思います。

オーストラリア派遣：英語が通じなくて悔しかったけれど、その悔しさが「もっと学びたい」に変わりました。将来、学びを続けて、世界とつながる進路にも挑戦したいです。また、自分がした経験を周囲にシェアし、視野を広げていきたいです。

マレーシア派遣：現地で交流して、言葉が完璧じゃなくても〝伝えようとする姿勢〟が大事だと分かりました。これまであまりなかった外国の人と話す経験ができたので、これからは困っている外国の人を見かけたら自然に声をかけられるようになりたいです。町の中でも、年代や国籍に関係なく一緒に楽しめる交流の場が増えたらいいと思います。

子ども会議：色々な年齢の人と話す中で、「自分の声にも意味がある」と思えました。

これからは、より多くの人が意見を言える場が増えると嬉しいです。町のことを〝誰かが決める〟のではなく、〝一緒に考える〟ことが当たり前になるように、もっと多くの人を巻き込んでいきたいです。

富士登山：大自然の前で人は小さくて、思い通りにいかないことばかりでした。でも、その分「当たり前の暮らし」がどれだけ恵まれているかを実感しました。これからは、簡単に諦めず、苦しい時こそ一歩ずつ進める自分でいたいです。

広島派遣：資料館で見たこと、被爆者から聞いたことは、教科書だけでは〝本当に知った〟とは言えない重さがありました。知ったからには、自分の言葉で伝える責任があると思いました。身近な友達や家族、そして次の世代に、平和の尊さや核の恐ろしさを語り継いでいきたいです。遠くの出来事にせず、「自分ごと」として考える輪を広げたいです。

■町長：ありがとうございます。皆さんの言葉からは、体験を〝思い出〟で終わらせず、次の行動に変えようとしている姿勢が伝わってきますね。災害に備え、地域を支えようとする姿勢、言葉や文化の違いを越えて人と向き合う勇気、自然や歴史の前で感じた畏敬の念、そして知った事実を次へと伝えようとする責任感。こうした一つひとつの経験が、皆さんを大きく成長させています。世界を広く見渡し、多様な価値観を理解しながら、より良い未来のために考え、行動する力は、これからの社会に欠かせません。三芳町はこれからも、皆さんが世界とつながり、平和と持続可能な社会をともに築いていく担い手として歩んでいけるよう、その挑戦を全力で応援していきます。

――特集・終――